

令和4年度宇仁郷まちづくり協議会総会を開催

6月25日(土)八王子会館において令和4年度宇仁郷まちづくり協議会総会を開催しました。

コロナ禍の影響で、事業を縮小している市内のまちづくり協議会やふるさと創造会議が多い中、宇仁郷まちづくり協議会は頑張っている活動を推進してきました。

中でも一昨年の令和2年10月1日より運行開始した宇仁ふれあいバスは、昨年1年間の乗車人数は942人となりました。1か月79人の方が乗車されたこととなります。今後、通院、買い物、図書館行き等、住民の足を確保していくと同時に、乗客の要望に沿った運行が実現出来るよう努力して参ります。

また、宇仁校区はつらつ部会を立ち上げ1年が過ぎました。コスモまつりで三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会を実施して三世代の交流を図ったり、あったか声かけ作戦実践発表や講演会などの研修会を計画し、より地域に密着した福祉活動の充実化を目指しています。

その他、朝市部会やふれあい交流広場部会など9部会が、困難な状況にもかかわらず事業を自主的に継続してきました。その結果、昨年度の稼働人員は11部会合計で11,620人となりました。(宇仁校区人口1,466人の約8倍)

今後の協議会運営について、まちづくり協議会の組織の在り方・主催イベントの見直しなど、まず協議会幹事会を中心に「基本計画検討委員会(仮称)」を設置し、5年先・10年先を見据えた「まちづくり計画書」を策定して、協議会活動の円滑な運営を図っていきたく考えています。そして、役員交代がスムーズにできるような「改革」にも取り組んでいきます。皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

(宇仁郷まちづくり協議会会長 稲木善英)



サイサイまつり (ふるさと加西夕暮市) に参加しました



宇仁の朝市は去る8月7日(日)に開催されたサイサイまつり本祭の夕暮市に久しぶりに出店しました。

当日は「満載市場」に17店舗、「夜店」に約120店舗、「夕暮市」には木工・陶芸・紙すき・織りなどの作業用品出品の加西特別支援学校高等部、衣類・調味料・タオル等バザー品出品の更生保護女性会、そして宇仁の朝市の3店が市庁舎内で午後5時から7時までの2時間出店販売しました。

私たちが持ち込んだのは187点で、その内販売したのが120点、ご利用いただいたお客様は57人でした。また同時に「宇仁郷通信157号(8月号)」を持参して約50部を配布し、宇仁郷まちづくり協議会をPRしました。

屋外に仮設されたステージでは約40組による歌やダンスの披露もあり、家族連れら約3万2千人が午後8時半頃から打ち上げられた花火約千発に歓声を上げたようです。

出店のための物品や機材の搬入は市庁舎東入り口まで車の乗り入れができたのでスムーズでしたが、搬出時は乗り入れが不可であったため、人混みの中重い陳列台などの荷物を車まで運ぶのに汗だくになり、少々疲れたという次第です。

(朝市部会)



ちょっといっぷく

読者の皆様にクイズで気分転換をしてもらいましょう。次の漢字をお読みください。5問とも全て名字です。

- ①丸 さん ②目 さん ③四月一日 さん ④小鳥遊 さん ⑤薬袋 さん

どうですか? 解かりますか? 答えを見る前にちょっと頭をひねってください。あなたはスマホで調べましたか、便利です。答えは宇仁郷まちづくり協議会ホームページの情報部会欄に掲載しています。

ホームページのURLは、<http://unigou.web.fc2.com/>です。たまには覗いてみてください。(情報部会)

宇仁小学校の思い出 ⑰～心のふるさと・宇仁の郷～

すっかりご無沙汰してしまって、申し訳ございません。皆様いかがお過ごしでしょうか。

宇仁小学校を離れて、2度目の夏を迎えた今、この原稿を書かせていただく機会をいただき、とても光栄に思っております。

全く勤務経験のない宇仁小学校での教頭就任という拝命を受けた時、「教頭という得体の知れない仕事」と「未知の土地に足を踏み入れること」への戸惑いで、いっばいだったことを覚えています。

「学校の窓口」としての役目を果たさなければならないのに、たくさんいらっしゃる「繁田さん」「常峰さん」「岡田さん」に悪戦苦闘。お顔とお名前が一致しない日々が続きました。それでも、わっしょいスクール協力員さん等、学校へお見えくださる回数が増えるにつれ、どんどんお顔なじみが増えていきました。そして、まるで旧知の仲であるかのように、厚かましくも、「下のお名前」で呼ばせていただくようになり、気さくに、いろいろお話しして下さるのが嬉しくて楽しくて、控え室となっていた放送室へたびたび足を運ばせていただいたものです。

避難所開設に際し、焼きたての「たいやき」を差し入れしてくださったり、ある秋の日に、柿もぎから干し柿作りまでご指導くださったり、大相撲の本場所が近づく度に、番付表をお届けくださったり・・・、いろいろな方の温かいお人柄に触れ、心が和みました。

また「運動会」や「さつまいも祭り」では、「一人一人が主人公」となって活躍する児童の応援として、その数をはるかに超える、宇仁郷の大人の皆様のご参加を目の当たりにしました。「地域の子どもは地域の皆で育てる」という、昨今大変難しくなっているそのことが、宇仁の郷ではごく自然に、当たり前のことのように行われていることを、本当に頼もしく感じました。

皆様の深い懐で包み込んでいただきながら、たくさんのことを学ばせていただいた3年間でした。今、体は皆様とずいぶん離れてしまいましたが、心ではずっと繋がらせていただいております。「心のふるさと・宇仁の郷」の皆様のみますますのご発展を心よりお祈り申しあげるとともに、宇仁の子どもたちはもちろんのこと、育て送り出していただいた私どものごこと、末永く見守ってくださいますよう、よろしくお祈りいたします。

(H30.4.1～R3.3.31教頭 現下里小学校校長 岩見直美)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑥

スポーツクラブ21 宇仁”の誕生

平成15年7月12日に設立準備会を立ち上げ、7回の会合を重ね平成15年11月29日八王子会館において設立総会が開かれ、活動方針、規約、事業計画、予算、役員が承認され活動がスタートしました。

この事業は県の「スポーツクラブ21ひょうご」に呼応したクラブを小学校単位に設立するもので、加西市教育委員会が主導しました。目的は「スポーツを通じて地域住民の健康の増進と親子のふれあいや地域の人々の交流を促進し地域の活性化および青少年の健全な育成を図る」でした。事業費は県から5年間で1,300万円の助成で、クラブハウスの設置と活動費の助成をするもので、5年後に自立するため参加会員に会費の負担を求めるのが条件でした。宇仁地区の区長会、各種団体23名からなる準備会でスポーツ種目を作り、地区内に会員募集をした結果361名の登録がありました。

宇仁のクラブは他地区と違ってクラブハウスを建てず八王子会館の一角に事設所を設けて費用の削減に努め、浮いた費用を備品庫、用具の購入、活動費に充当し余剰金は積立金にしました。

役員は、会長黒崎忠彦、副会長福田義則・山本朋子、会計稲木善英、事務局長岡田和之、事務局次長岡田洋一・谷幸子、役員総数36名の組織が出来ました。

運営に当たり、参加応募者のスポーツ種目への振り分け、会員証の発行、会費の徴収、イベント保険の加入、用具の維持、事故対策、行政対応等の下支えに苦労もありました。

役員の中からスポーツ種目別代表として、ウォーキング(117人) 荒田正克・吉田照子、グラウンドゴルフ(63人) 岡田國男・小川和代、健康体操(61人) 本岡弘・松本春美、ゴルフ(40人) 岡田一信・片岡勝士、テニス(37人) 繁田浩一、ファミリーバドミントン(28人) 繁田浩、ヨガ(18人) 志方富美代、ゲートボール(23人) 佐々木勝さんの12名が実践活動を推進されました。その後、山登りを楽しむ宇仁山遊会(代表繁田泰朗さん)が組織され9種目となりました。



設立総会資料の表紙